

第54回関西広域連合委員会

日時：平成27年3月1日（日）

午前11時50分～午後0時25分

場所：大阪府立国際会議場 10F 1001-2会議室

開会 午前11時50分

○広域連合長（井戸敏三） 大変遅くなってしまいました。20分も遅刻になりました。では早速に、第54回連合委員会を開会させていただきます。効率的にご審議を賜って、20分には終えたいと考えておりますので、よろしくご協力をお願いいたします。

それでは冒頭、飯泉委員より発言希望がありますので、どうぞお願いいたします。

○委員（飯泉嘉門） ありがとうございます。去る2月6日、本県の南部牟岐町で、震度5強の地震がありました。我々としてはいよいよ恐れていた南海トラフ巨大地震が来たのではないかというぐらいの直下型でありました。このときに関西広域連合広域防災局から3名の職員、直ちにご派遣をいただきました。また、鳥取県から消防防災ヘリとともに2名の職員にお越しをいただきまして、本当にありがとうございます。おかげをもちまして大きな被害もなく済むことができました。まさに実践ここにありということになったところでありまして、これからはしっかりと備えてまいりたいと考えておりますので、本当にどうもありがとうございました。

○広域連合長（井戸敏三） 小さな災害でよかったのですが、いずれにしましても南海トラフ対策、特に和歌山と徳島、直撃を受けますので、さらに関西広域連合としても連携をとらせていただきたいと思います。と思っています。

では協議事項の最初でございますが、経済の好循環実現のための賃上げに向けた価格転嫁対策の強化を求める緊急提言について、仁坂副連合長のほうからご説明いただきます。

○副広域連合長（仁坂吉伸） 提案者ですので説明申し上げます。資料1の2枚目に、「和歌山県の経済状況」という1枚紙があります。地方はどこでも今、景気好転

の実感がないというような意見が強いですが、これは本当にそうだと私は思います。それはなぜかというと、生産はある程度増えてきたわけですが、なかなかその地域の人たちの給料が上がらないので、消費が伸びない。それで一方、例えば輸入物価は上がりますから、物価は政府が狙っているように上がっていくし、それから電気料金も上がるし、消費税も上がるということなので、なかなかつらい。これが実態ではないかと思います。それで、給料がどこで上がったかということ、儲かった企業ではかなり上がったようです。儲かった企業は輸出採算になる企業で、実は和歌山のような地方ではそういう企業も中にはありますけれども、その儲かっている大企業、輸出採算になるような大企業に製品を供給している、露骨な言葉で言えば広い意味での下請企業が多いわけです。それで、原料費などが上がっているのだけれども、そのような企業に対する価格転嫁を、大企業がなかなか認めてくれない。不況の時のように、やはりずっとコスト削減で頑張っている。その結果、余り価格転嫁をされなくて、景気実態がよくない。この円グラフでもそのようになっているわけです。それで中小企業の従業員の給料なんか上げられっこないですから、全体としてそういうところの、人口比率の高いところの消費が伸びない。これはきっと全国の足を引っ張るぞと、ひいてはその大企業の足も引っ張っていくぞと思ひまして、かねがね、私は声を上げていたのですが、12月にこの辺のことを政府と政労使にきちんと理解していただいて、トップ同士の申し合わせができましたが、その際にもはっきりと価格転嫁に一致協力して取り組もうと申し合わせに書かれているわけです。それで我々はこの辺の話をよく皆さんに理解していただいて、これは価格交渉ですから自分で動かないと話にならないわけですね。そのときに過大に悪いことを言われたら、しかるべきところに言っていくというような形でやっていくべきだと思います。政府がこういうところに一々価格交渉に関与していくというのが、余り望ましいことだとは私は究極的には思っていないかもしれませんが、しかし今、経済を変えていかなければいけないときですから、これは賃上げだけでなく価格転嫁も頑張ってもらいたいし、大手の企業も長い目で日本

経済と自社の経営を考慮して協力してもらいたい。そういうことを関西広域連合でもメッセージで出したらどうだ、という提案です。

○広域連合長（井戸敏三）　今の提案について、基本的に各府県ともご同意だと思えます。あえて特別な意見がおありの方、手を挙げてください。なければこれでGOとさせていただきますと思います。よろしゅうございましょうか。

私もう既に、経営者協会や連合に、賃上げ、春闘頑張れという話と、価格転嫁、下請、孫請に対して購入価格を上げてくださいという話を伝えております。まんざらでもなさそうな感じなのですがけれどもね。やはりトヨタが2年連続引き下げ要請しないというのは、やはり相当効いている感じはありますね。

それでは続きまして、関西広域連合の来年度の体制について、事務局のほうで、もう既に何度も説明はしてきておりますが、確認のためにご説明申し上げます。よろしく申し上げます。

○事務局　27年度の組織体制でございます。1点、特定課題組織の体制整備といたしまして、主として企画調整事務として取り組んでおりますような事務の司令塔の職として、企画参事という職に再度再整理させていただきたいと思えます。その中で（1）産学官イノベーションの推進体制につきましては、現在②組織（案）のところに書いてありますが、関西イノベーション推進室という一つのユニットを持っておりますが、これを廃止いたしまして、特区担当の企画参事と兵庫県のイノベーション推進担当の企画参事、この二つの企画参事を置こうとするものでございます。またそのうち、イノベーション推進のところには、学識経験者の方に顧問という形でお願いいたしまして、今後産学官連携で議論を進めていくための体制を整理したいと考えております。

2ページのほうお願いいたします。（2）エネルギー検討会につきましては、現在プロジェクトチームを本部事務局に駐在して置いておりますけれども、これを廃止いたしまして、今後座長をお願いしております滋賀県知事のもとにリーダーとして企画参

事を置き、また各府県市の担当課長にそれぞれ担当の課長として再度引き続きこの事務をしていただくというふうにしております。②組織（案）のところでございますけれども、（3）広域インフラ検討会につきまして、それぞれ企画部会なり専門部会の部会事務のところには企画参事を置くとともに、これまで設置しておりました北陸新幹線等検討部会、これは発展的に解消し、今後企画部会の中で議論を進めていくということに整理したいと考えております。

3 ページ、大きな2番目、広域防災局の体制整備でございますけれども、（2）組織（案）広域防災局内に防災情報を所管します防災情報課を新設いたします。既存の兵庫県の防災情報室をこれに充てることとしております。大きな3番目、ジオパーク活動でございます。昨年8月に南紀熊野地域が日本ジオパークに認定されたことに伴いまして、現在鳥取県のほうでお願いしております山陰海岸ジオパーク、これを南紀熊野も視野に入れまして、ジオパーク全体を所管すると改めたいと思います。

4 ページ以降、今後検討を要する事項として、資料を付けておりますが、現在広域連合のほうで広域スポーツの振興というのを新たな事務として位置づけてはどうかという検討を進めております。内容につきましては、資料のとおりでございますけれども、これにつきましては今後、規約改正をする必要がございます。これは各構成府県市の議会で議決いただく必要がございます。また併せて、広域計画にもそのことを書き込む必要があり、これは広域連合の議会で議決いただく必要があります。今後それらの議決案が整い、また総務大臣許可等が終了しましたら、広域スポーツという形で取り組む、またそのための組織を新たに設置する必要がございます。これにつきましてまた改めてご相談させていただきます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三） 何か特別にご意見ございませんでしょうか。

どうぞ、西嶋さん。

○副委員（西嶋栄治） 滋賀県でございます。エネルギー検討会につきましては承

りました。それから、広域インフラ検討会でございます。北陸新幹線につきましては金沢、敦賀間開業の3年前倒しが決定されまして、今後、国において、敦賀以西について検討されることから、平成25年4月に関西広域連合で合意をいただきました「北陸新幹線敦賀以西ルート提案にかかる取組方針」に基づき、大阪までの早期開業につきまして、企画部会において取り組む必要があると、このように存じますので、よろしくお願いを申し上げます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三）　これは部会長、どうぞよろしくお願いたします。

最終的には広域スポーツの振興についての規約改正とか広域計画の改正につきましては、3月にご確認いただきますけれども、こういう基本方向で進めさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いをいたします。それで6月議会といたしますけれども、5月から7月までに、それぞれの府県で6月議会が順次開かれます。したがって、7月の中ごろに出そろって、8月の中ごろ、1ヵ月ぐらいたって自治大臣の許可がおりるのではないかと思いますので、おおむねそのようなスケジュールを考えておりますので、よろしくお願いたします。

それでは協議事項でもう一つありましたね。近畿圏広域地方計画協議会へ従来から関西広域連合として加入を認めてほしいということをしり入れてきたのでありますが、まだ協議会自身も開かれておりませんし、関西広域連合の協議会への加入についても方向づけが決まっていませんので、この際関西広域連合として協議会の加入を働きかけるという意味で、このような要請をしたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、要請をさせていただきたいと思います。ただいづれにしても、早く地方形成計画の議論に入らないといけませんので、私どものほうも既にご意見を伺っていると思いますが、五百旗委員長のもとでの研究会のたたき台がまとめられつつありますので、そのたたき台に対して各府県からのご意見を頂戴したいと考えていますから、どうぞよろしくお願いたします。

研究会はいつですか。

○事務局 3月9日です。

○広域連合長（井戸敏三） 3月9日だそうですから、そんなに時間がありませんけれども、恐縮でございますが、ご意見お返しいただいて取りまとめた上でお諮りをしていきたいと考えております。よろしく願いいたします。

それから報告事項でありますけれども、資料3であります、第21回電気料金審査専門委員会に私、2月2日に出席いたしまして、まず料金値上げを本当にするのだったら問題がいろいろあるのではないかと、経営の合理化だとか効率化をもっと徹底すべきじゃないかというようなことと、それから料金水準の問題を強く指摘してまいりました。それで最後に、代替措置が考えられないのかと。つまり高浜原発の再稼働の方向づけなどが目に見えてきているような状況の中で、代替措置というのは考えられないのかということ、強く提言をしてまいりました。代替措置というのは何になるかというのは、私から具体的には言わなかったのでありますが、十分そういうことも考えられる余地があるのではないかと、料金値上げだけでこの場面を対応するというのでいいのだろうかという提言をしておきました。

併せて最後に、原子力発電所関係で安全協定の問題とか避難計画の問題ですとかモニタリングの情報の問題についても、エネ庁の電力・ガス部長も来ていたものですから、あえて発言を付け加えておきました。

以上でございます。特にありませんね。

それでは資料4であります。資料4、事務局から簡単に説明してください。

○事務局 それでは資料4をご覧ください。2月21日に大西委員長含めまして5名の委員のご出席を得まして、第2回の小委員会を開催させていただきました。参考資料1と2を付けさせていただきますが、事務局で政策コンセプトの考え方について基本的に整理したものを、資料として付けさせていただきます。第2回小委員会で政策コンセプトの素案についてご議論をいただきました。その議論の中身につま

しては、大きく3つぐらいに集約してご説明したいと思います。

一つ目は、個人の価値観への政策関与のあり方の視点から、経済と幸福感とを対立軸で考えないほうがよいのではない。それから、家族重視といった表現があるが、家族を持たないような人もいるので、そういった人たちに対する配慮もすべき。また、若者に働き方などの教育を行って、経営者側だけの意識改革ではなくて、働く側に意識改革も必要だというふうなご指摘がございました。

二つ目が、海外や圏域外など、外部と圏域との関係性という視点から、多様なものの集積でイノベーションを創出し、対外的に競争力を持つといったような、もっと外向きに打って出るような表現を考えるべきという意見や、外国人に住みたいと思われる関西にするために、国際機関の関西誘致あるいは姉妹都市提携による経済交流をもっと強化すべきというご意見がございました。また、外の人から見て価値あるものをつくっていくという意味においては、都市と農村を分けて考える必要がないのではないかとご指摘がございました。また、圏域内での新規創業であるとか、新規就農等の促進という観点からは、後継者のない空き工場とか、放置されているすだちの木など、資産の円滑な継承であるとか、あるいは転用の仕組みを構築すべきというご意見、人の事業やアイデアに対する投資が促進されるような規制改革、規制緩和などの支援が必要であるというふうなご意見、グローバルとローカルを明確には区分せずにローカルの魅力をグローバルに展開するといったような視点を持つべきであるというふうなご意見、選択するという思考から生み出すという思考への転換が可能となるような場を積極的に提供することで創造産業の創出につながっていくといったご意見がございました。このような様々なご意見を踏まえまして、大西委員長のもとで施策コンセプト素案を取りまとめまして、3月9日に開催予定の第3回研究会で、中間報告に向けてご議論いただくこととしております。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） ほとんどわからなかったと思いますが、そういう意味

では議論が進んでいるということですが、お手元の小委員会の開催結果の後ろに政策コンセプトのイメージ、それから政策コンセプトの策定に向けた整理、参考資料1、参考資料2がございます。この資料をベースに、大変窮屈な日程ですが、ご照会をさせていただきご意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

それから続きまして、京滋ドクターヘリの運行開始について、飯泉委員お願いします。

○委員（飯泉嘉門） いよいよお待たせいたしましたという形で、滋賀県全域、それから京都府南部、これを守備範囲といたします京滋ドクターヘリが、恩賜財団済生会滋賀県病院を基地病院として、4月28日火曜日から運行を開始することになりました。4月28日を発表するのは今日が最初ということでありまして、これによりまして、関西広域連合管内6機体制、これがいよいよスタートとなるわけでありまして、我々として目標としていた30分以内での救急搬送体制がここに確立をされます。また二重、三重のセーフティネット、こちらの充実も図られてくるところでありまして、しっかりと2,000万府民県民の皆様方の安全安心確保を努めてまいりたいと思います。

ちなみに京滋ドクターヘリの就航式を28日、午前10時から済生会滋賀県病院で行わせていただきたいと思います。この来賓には、関西広域連合議会の議長さんにもご招待させていただいております。よろしくお願いいたします。

○広域連合長（井戸敏三） ドクターヘリ、関西全域カバーすることになりました。問題点は、国が補助金を削ってくることでありますので、これにつきましても積極的にきちんとした対応をしていきたいと思っております。これ、全部をカバーしたんで、一度また要望書をつくって突きつけたほうがいいかもしれませんね。

○委員（飯泉嘉門） はい、それできょう実はこの後連合議会で質問をいただいておりますので、そのときにもちょっと話を、答弁としてさせていただきたいと。

○広域連合長（井戸敏三） どうぞ。

○副委員（西嶋栄治） 滋賀県でございます。関係の皆様方のご協力によりまして、念願の京滋ドクターヘリ運行開始日が決定いたしました。本県の救急医療、あるいは京都府の救急医療のさらなる充実が図られることに、本当にお礼を申し上げたいと存じます。京滋ドクターヘリが順調に運行できますように、4月には実機を使用した訓練も実施いたします。医療機関との連携を密にし、京都府様とも連携をいたしまして、しっかり努力してまいりたいと思います。ありがとうございます。

○広域連合長（井戸敏三） それではどうぞよろしく願いいたします。

就航式には飯泉さん、出席される。

○委員（飯泉嘉門） はい、もちろん私、それからあと滋賀県、それから議長。

○広域連合長（井戸敏三） 議長さん。

○委員（飯泉嘉門） そうです、議長さんももちろんです。

○広域連合長（井戸敏三） 京滋ヘリですからね。どうぞよろしく願いいたします。

それでは続きまして、KANSAI国際観光YEAR2015 P R イベントの開催について、山田知事よろしく願いいたします。

○委員（山田啓二） 今年のKANSAI国際観光YEARは、関西の世界遺産等をテーマにジオパークや記憶遺産も含めて、幅広くP Rしていこうとしており、そのキックオフイベントを3月27日と28日に関西国際空港で実施をさせていただきます。ゆるキャラも含めてたくさん出てもらって、P Rをしていこうと思っております。この後に、9月に開催される第4回アジア太平洋ジオパークネットワークの山陰海岸シンポジウムや、また、和歌山県では第2回世界遺産サミットがあるんですね。こうしたものをメインに、今暫定リストに載っている百舌鳥・古市古墳群や彦根城、それから記憶遺産では、京都の東寺百合文書や舞鶴引揚記念館の史料が今、国内候補になっておりますので、こうした点をP Rしながら、さらに関西の魅力を高めてまいりたいと思っておりますので、ぜひとも協力のほどよろしくお願い申し上げます。

○広域連合長（井戸敏三） 鳴門の渦潮も取り組んでおりますので忘れないでください。兵庫県と徳島県でもう既に協議会を発足させまして、研究委員会も研究を開始いたしております。よろしくお願いいたします。

続きまして、ムスリムに対する対応につきましてお願いします。

○委員（山田啓二） ムスリムフレンドリー関西というウェブページを新設いたしますのでよろしくお願いいたします。それぞれ各府県市のムスリムフレンドリーな施設や店舗の紹介をしているのですが、大切なのは更新の作業でございます。更新の作業は各府県市にお任せをいたしますので、よろしくお願いいたしますと思います。本当は、「ムスリムフレンドリー〇〇」という形で各府県市がホームページをつくって、そこにリンクを貼っていける形が、最終的にはいいのではないかなと思っております。でもこのウェブページによって関西のムスリムに対するさまざまな施設などの状況がわかりますので、ぜひともまた見ていただきましてよろしくお願いいたします。

○広域連合長（井戸敏三） 英語版はつくらないんですか。

○委員（山田啓二） 日本語版と英語版です。

○広域連合長（井戸敏三） 日本語版と英語版。アラビア語では書かないですか。

○委員（山田啓二） 日本に来るムスリム、どちらかというとならマレーシアとかインドネシアとか、そちらのほうが多いです。

○広域連合長（井戸敏三） 最低英語は要りますかね。おっしゃいましたように、各地域はそれぞれのムスリムホームページを各府県がつくるぐらいの対応をしていったほうがいいかもしれませんね。それで、関西広域連合はそういう共同ページを持っているというふうな形のほうが、更新意欲も高まるでしょうから。

○副広域連合長（仁坂吉伸） 名前を統一したほうがいいかもしれませんね。

○委員（山田啓二） そういう形で今「ムスリムフレンドリー〇〇」の言葉が使われていますので、それで「関西」と。

○広域連合長（井戸敏三） とりあえず、これをスタートして、リンクを貼ってい

く作業をしていく。

○副広域連合長（仁坂吉伸） 名前が一緒だと印象深い。

○広域連合長（井戸敏三） ムスリムフレンドリー兵庫、ムスリムフレンドリー神戸。

○副委員（鳥居 聡） まだないです。

○広域連合長（井戸敏三） 早速つくっていただいて。京都はあるの。

○副委員（小笠原憲一） 京都市はあります。

○広域連合長（井戸敏三） 大阪は府と市で共同なの。

○副委員（植田 浩） 経済界を含めて観光局で。

○委員（山田啓二） 神戸市はもう持ってる。

○広域連合長（井戸敏三） そういうサイトがあるなら名前だけは統一して活用していくようにしたらいいですね。よろしく願いいたします。

それではメディカルジャパンの報告を、植田副委員からお願いします。

○副委員（植田 浩） 資料8でございますけれども、2月4日から6日までの3日間、インテックス大阪で「メディカル ジャパン」が開催されました。今回第1回ということで、主催者によりますと出展社が723社、うち海外から19カ国地域から87社が来られたということでございます。来場者数が2万7,000人余りということで、大変盛況だったということでございます。関西広域連合もブース出展あるいはセミナーの開催などを行いました。関西広域連合のブースには全体の約1割にあたる2,760名の方にお越しいただいたということですし、関西広域連合が実施したマッチングセミナーにも大学等による54本の研究成果発表に、延べ2,400人の参加があったということでございます。加えて今後、事業化ですとか、共同研究につながる可能性のある相談などが100件を超えたということで、大変成果があったのではないかというふうに思っております。

次回ですけれども、来年の2月に規模を2倍に拡大して開催すると、インテックス

大阪全館を使用するというごさいます。出展社、来場者の目標も大幅に引き上げるということを主催者側から聞いております。広域連合としても引き続きブース出展を行うとともに、特別協力の形で連携協力を図っていくところのごさいますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

○広域連合長（井戸敏三） 大変盛会だったのは、ご憧憬に絶えません。飯泉委員もご講演いただいたようで、ご苦勞様でございました。来年もしっかり準備を進めていきたいと思ひます。

それでは26年度の関西エコオフィス大賞の決定につきまして、お願ひいたします。

○副委員（西嶋栄治） それでは私のほうから、平成26年度関西エコオフィス大賞の決定について、ご説明申し上げます。適正な冷暖房温度の設定や、夏冬エコスタイルなど身近なところからの省エネルギー等の取組を実施する事業所に、関西エコオフィス宣言事業所として宣言をいただひており、現在1,660の事業所が宣言されております。この度、宣言事業所の中から優れた取組を募集いたしましたところ、17件のご応募をいただきました。その中から選定会議におきまして、次のとおり大賞及び奨励賞を決定いたしました。総合的に特に優れた事業所を大賞、それから優れた取組を行っている事業所やユニークな取組を行っている事業所を、奨励賞として選定をさせていただきます。

ここにございますように、関西エコオフィス大賞は、株式会社東芝セミコンダクター&ストレージ社姫路半導体工場様でございます。昨年度は奨励賞を受賞され、その後も多分野にわたる高いレベルの取組を継続されるとともに、プラスチックの分別のルールを改善いただきました。創意工夫され、他の事業所への波及効果が期待できる取組として、高く評価をされました。また奨励賞につきましてはそこに書いておりますように、株式会社二葉建設様、以下5件の皆様を選定させていただきました。表彰は三日月広域環境保全担当委員が、今月12日に滋賀県公館でさせていただきます。

以上でございます。

○広域連合長（井戸敏三）　　ありがとうございました。

　　以上で、本日の委員会、無事終了させていただきました。この際特に、どうぞ仁坂さん。

○副広域連合長（仁坂吉伸）　　ミラノ博についてです。和歌山県はミラノ博に出展を申し込んでいるので、7月5日から7日まで、日本館で、「和歌山デー」を実施してもらえるんですね。私も少し行って、センチメンタルジャーニーで楽しいなど、こう思っているわけですが、そのときに和歌山県の宣伝をするけれども、やはり関西全体の宣伝もしたらいいなと思うのです。それで皆さんよかったら、ちょっと広域連合で声をかけていただいて集めていただいて、一部関西の部分を宣伝してブースにするということをやったらどうか。それで、ついでに、自分の費用ですから和歌山だけやると怒られるので、相互主義でやってもらえると、出展しない府県市はもういいと思いますけれどもね。そうすればいいなと思っている次第でございます。

○広域連合長（井戸敏三）　　その点は調整をさせていただいていまして、5月から始まるのですよね、5月1日から。それで若干ばらばらなんです。それで兵庫県は7月16日から19日だったはずで、それに一小間、どんな小間とか形状をするのかはともかくとして、一緒に関西広域連合として形状をつくりますので、それで今相互主義と言われたのですが、各府県市にはそれぐらい受け持ってもらおうという方向でお願いしたいと思っていますので、調整をぜひさせてください。

　　よろしく申し上げます。

　　農業なので、農業部門に、いわば観光とか関西の紹介が入っていくということになりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

　　それでは以上で、委員会、終了させていただきます。ありがとうございました。

○事務局　　ご出席の記者の方でもし質問がありましたらお受けしたいと思うのですが、いかがでしょうか。よろしいですか。

ではこれで終了させていただきます。

閉会 午後 0時25分